

2010年7月5日
新日本製鐵株式会社

ベトナムにおける鋼管杭・鋼管矢板工場の新設

建設用鋼材の現地生産体制の構築により
アジア・オセアニア地域における社会資本整備に貢献

新日本製鐵株式会社は、このたびベトナムにおいて、B I Z A (Ba Ria-Vung Tau Industrial Zones Authority) から投資許可証を受領し、ベトナム唯一の鉄鋼国営公社である Vietnam Steel Corporation および日系商社5社

(株)メタルワン、住友商事(株)、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)、阪和興業(株)、日鐵商事(株)との合弁で鋼管杭・鋼管矢板工場を新設することといたしました。

アジア・オセアニア地域では、経済成長を背景に社会インフラ整備や資源・エネルギー開発が活発に行われております。とりわけベトナムにおいては、日越の経済協力の下に官民一体となったインフラ関連プロジェクトも含め、港湾整備、道路・鉄道建設、発電所建設等の大型土木プロジェクトが数多く計画されており、将来にわたり日系企業各社の積極的な進出が見込まれております。

また、ベトナムにおいては、土木プロジェクト等の素材はコンクリートが大宗を占めており、コンクリート需要とリンクするセメントの年間需要は、日本の4千万トン規模を上回る5千万トン規模に達しております。土木用基礎杭についても、従来はコンクリート杭が大量に使用されておりますが、今後は長尺施工が容易で軽量かつ高耐力を有する鋼管杭・鋼管矢板への鉄化の動きが進展するものと予想しております。

当社はこれまでもベトナム交通運輸大学との共同ワークにより設計マニュアル・設計ガイドラインの策定等に取り組んで参りました。今後はマーケット環境を迅速かつ的確に捉え、日本国内で培ってきた技術・設計提案力をベースに鉄需創出を図りながらベトナムの社会資本整備に貢献して参ります。併せて、ベトナム以外のアジア・オセアニア地域における大規模プロジェクトについても、日本ODA案件を中心に取り組んで参ります。

なお、当社が海外において建設用鋼材の生産拠点を有することになるのは、本件が初となります。当社はこれまで東アジア各国において鋼構造の普及に努めて参りましたが、当該地域はいよいよ鋼構造の時代を迎えつつあります。今回のベトナムにおける現地生産体制の構築は、鋼構造の普及を一層加速させる意味合いも有しております。

1. 合併会社概要

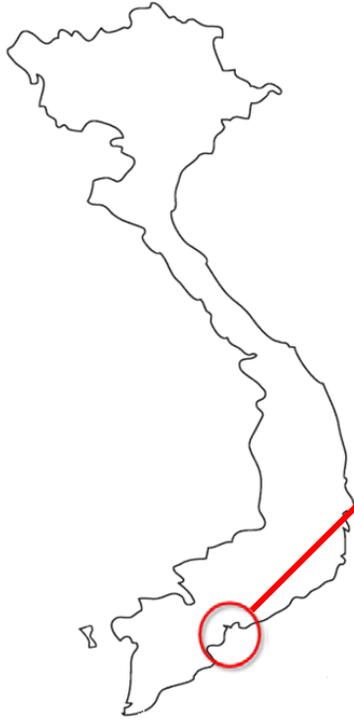
会社名 : Nippon Steel Pipe Vietnam Co., Ltd. (略称 ; NPV)
代表者 : 小木曾敏孝 (新日鉄より派遣)
所在地 : ベトナム南部のバリアブントウ省フーミーⅡ工業団地内
設立日 : 2010年6月18日
資本金 : 15百万ドル
出資構成 : 新日鉄 51%、(株)メタルワン 20%、Vietnam Steel Corporation 10%、
住友商事(株)、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)、阪和興業(株)、日鐵商事(株) 各 4.75%

2. 工場概要

所在地 : ベトナム南部のバリアブントウ省フーミーⅡ工業団地内
敷地面積 : 10万 m²
主要設備 : スパイラル鋼管造管機 1基 他
生産能力 : 5千トン/月 (ステージ1)
生產品目 : 鋼管杭・鋼管矢板他
総投資額 : 31百万ドル
従業員 : 約150名
着工時期 : 2010年10月 (予定)
稼働時期 : 2011年5月 (予定)

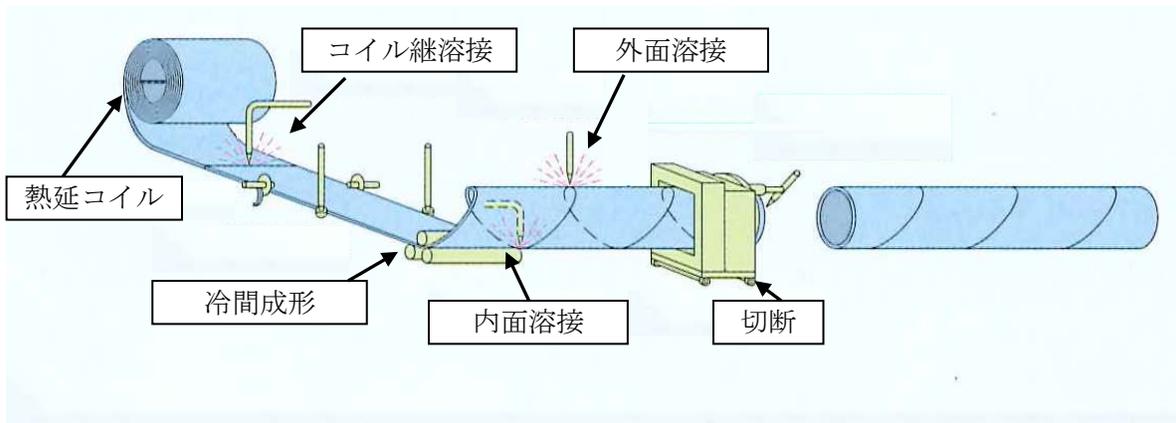
(本件に関するお問い合わせ先) 総務部広報センター TEL : 03-6867-2135

〔地図〕



フーミーII工業団地 (ホーチミン市から60km)

〔スパイラル鋼管造管プロセス〕



スパイラル鋼管



〔鋼管杭・鋼管矢板施工例〕



港湾整備



プラント基礎



海洋構造物
(羽田空港D滑走路)